



I.Terashima

THE MUSASHINO STAKES

第30回 武蔵野ステークス (GIII)

1着 本賞 40,000,000円 2着 付加賞 16,000,000円 10,000,000円 6,000,000円 4,000,000円
5着 588,000円 168,000円 84,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳56kg、4歳以上57kg、牝馬2kg増、2024.11.9以降G I競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、
牝馬限定G I競走またはG II競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.11.8以前のG I競走(牝馬限定
競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

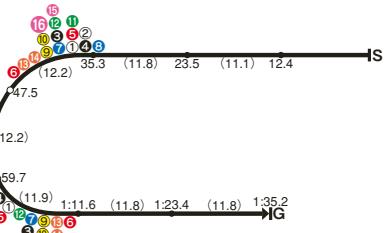
2025.11.15 東京 晴・良 ダ1600m (国際) (指定)

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位 (600m)	(増減)					
1	⑯	ルクソールカフェ	牡3	56	D.レーン	1:35.2	4-4	34.9	544(-2)	4.5⑩	堀 宣行(美浦)	114	
2	④	コスタノヴァ	牡5	59	C.ルメール	3½	14-14	34.8	492(±0)	2.8①	木村哲也(美浦)	112	
3	①	ビダーヤ	牡4	57	川田将雅	ハナ	11-11	35.0	492(-4)	11.3④	矢作芳人(栗東)	108	
4	⑮	サンライズフレイム	牡5	57	菱田裕二	アタマ	7-7	35.3	520(+4)	22.4⑦	石坂公一(栗東)	108	
5	③	ロードフォンズ	牡5	57	横山和生	クビ	7-7	35.3	496(-6)	23.3⑧	安田翔伍(栗東)		
6	②	ヴァルツアーシャル	牡6	57	菅原明良	1½	14-14	34.9	506(+6)	298.8⑩	高木 登(美浦)		
7	⑪	オメガギネス	牡5	57	岩田康誠	クビ	11-11	35.3	494(-2)	3.8②	安田翔伍(栗東)		
8	⑫	ラタフォレスト	牡4	57	T.マーカド	クビ	7-10	35.5	508(-4)	61.9①	加藤征弘(美浦)		
9	⑯	ペブドナルイル	牡7	58	藤岡佑介	クビ	3-2	36.2	530(-2)	11.8⑤	武 英智(栗東)		
10	⑨	マテンロウコマンド	牡3	57	松山弘平	%	4-4	36.0	520(±0)	28.5⑨	長谷川浩大(栗東)		
11	⑩	ダノンスコーピオン	牡6	58	小崎綾也	クビ	4-4	36.1	458(-14)	139.8⑩	福永祐一(栗東)		
12	⑬	ウェットシーズン	駆4	57	三浦皇成	クビ	2-2	36.5	518(-4)	18.6⑥	田中博康(美浦)		
13	⑥	アサカラキング	牡5	57	津村明秀	%	1-1	36.8	530(+4)	74.7⑩	斎藤 誠(美浦)		
14	⑦	アドマイヤディトナ	牡3	57	横山武史	%	7-7	36.1	514(-1)	104.7⑩	加藤征弘(美浦)		
15	⑤	バトルクライ	牡6	57	戸崎圭太	2½	11-11	36.2	504(-2)	58.5⑩	高木 登(美浦)		
16	⑧	サンライズホーク	駆6	57	佐々木大輔	1	16-16	36.0	514(+6)	227.5⑩	牧浦充徳(栗東)		

単勝165円(3%)*、複勝160円(3%)*、④140円(1%)*、①290円(5%)*、枠連②-⑧640円(1%)*

馬連④-⑩630円(2%)*、ワイド④-⑩370円(2%)*、①-⑩1,180円(16%)*、①-④700円(6%)*

馬単⑥-⑩1,620円(5%)*、3連複①-④-⑩3,290円(7%)*、3連単⑩-④-①13,220円(23%)*



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
35.3 - 47.5 - 59.7 1:11.6 (11.8) 1:23.4 (11.8) 1:35.2

通過タイム : 35.3 - 47.5 - 59.7 1:11.6 (11.8) 1:23.4 (11.8) 1:35.2

上り : 47.7 - 35.5

外ルクソールカフェUSA Luxor Cafe

牡 鹿毛 2022.2.26生

アメリカ Opendale / Chelston / Wynatt & Westerberg Ireland ULC生産
馬主・西川光一氏 美浦・堀宣行厩舎
馬名意味・エジプトの都市+冠名

F1-k		
American Pharaoh 鹿毛 2012	Pioneerof the Nile 黒鹿毛 2006	Empire Maker
		Star of Goshen
	Littleprincessemma 栗毛 2006	Yankee Gentleman
		Exclusive Rosette
	More Than Ready 黒鹿毛 1997	Southern Halo
		Woodman's Girl
Mary's Follies 鹿毛 2006	Catch the Queen 鹿毛 1999	Miswaki
		Wave to the Queen

5代までのインブリード : Mr.Prospector M4×M5

INTERVIEW

畠山慶和厩舎長(チャンピオンヒルズ・育成)

フットワークはとてもしなやかです

1歳時の着地検査後から担当させていただきました。雄大な馬体で重戦車のように思われますが、フットワークはとてもしなやかな馬です。性格は非常に繊細で我的強い面もありますが、一段一段成長してきました。今回の勝利は、簡単ではない本馬の心と体のバランスを、堀調教師の知識や経験則によって戦略的に成長へ繋げられた結果だと思います。



K.Miura

フエブライ-Sを連覇したカフェエラオの全弟にあたる本馬はデビュー3戦目、東京・ダート1600mで挙げた初勝利を皮切りに4連勝。勢いに乗って春はケンタッキー・ダービー(12着)に挑んだ。夏場の休養を挟んで臨んだ始動戦のジャパンダートクラシックでは、ナルカミに10馬身余りの大差をつけられて3着に敗れたが、ひと叩きされて鮮やかに変身。完敗の後塵を拝したナルカミへの雪辱、そして戴冠かかるチャンピオンズCに向かって大きく弾みをつけた。

父アメリカンファラオ American Pharoah

アメリカ産 北米11戦9勝(ケンタッキーダービーG₁、ブリークネスS G₁、ペルモントS G₁、BCクラシックG₁、ハスケル招待S G₁、デルマーフューチュリティG₁、フロントランナーS G₁、アーカンソーダービーG₁、レベルS G₂)、米年度代表馬、米最優秀2歳牡馬、米最優秀3歳牡馬、16年から米で供用

[代表産駒] **カフェエラオUSA**(後出)、**リフロケット** Riff Rocket(ATCダービー・豪G₁)、**ゴールドラッシュグル** Goldrush Guru(ヴィクトリアダービー・豪G₁)、**ヴァンゴッホUSA**(クリテリウムアンテルナシオナル・仏G₁)、**アバザーカーヴ** Above the Curve(サンタラリ賞・仏G₁)、**アズタイムゴーズバ**

イ As Time Goes By(ビホルダーマイルS・米G₁)、他に重賞勝ち馬多数

母メアリズフォリーズ Mary's Follies

アメリカ産 北米12戦4勝(ミセスリヴィア S G₂、ボイリングスプリングズS G₃、アシニア S G₃2着、レイクジョージ S G₃2着)

ナイトブラウラー Night Prowler(12 牝父Giant's Causeway)北米、パルバドス32戦8勝(トランシルヴァニア S・米G₃、ダニアビーチ S・米G₃、ベンマイル S・米G₃2着、ポーカー S・米G₃3着)

ウイズホールド Withdrawn(13 牝父Tiznow)北米3戦0勝

カシズストーリー Casses Story(14 牝父Bernardini)北米26戦4勝

リーガルグローリー Regal Glory(16 牝父Animal Kingdom)北米23戦13勝(ジャストアゲイン S G₁、ジェニーワイリー S G₁、メイトリアーク S G₁2回、レイクプラシッド S G₂、ベガサスワールド Cフィリー&メアターフ招待 S G₃、レディスター S G₃、レイクジョージ S G₃、ベンオークス・L、デラローズ S・L、プレンティオブグレース S、ファーストレディー S G₁2着(2回)、米芝牝馬チャンピオン)

カフェエラオUSA(17 牝父American Pharoah)中央11戦6勝(フェブライ-S G₁2回、シリウス S G₃、ユニコーン S G₃、ヒヤシンス S・L)、地方4戦1勝(マイルチャンピオンシップ南部杯J_nI)、首、沙2戦0勝(サウジC・沙G₁3着)、最優秀ダートホース、種牡馬

ポールビー Paul P(19 牝父Candy Ride)北米4戦1勝

レディトゥコネクト Ready to Connect(20 牝父Connect)沙12戦2勝

ルクソールカフェUSA 本馬(22 牝父American Pharoah)中央7戦5勝

(武蔵野 S G₃、ヒヤシンス S・L、伏竜 S O_p、黒竹賞)、地方1戦0勝(ジャパンダートクラシックJ_nI 3着)、北米1戦0勝

獲得総賞金112,286,000円

アルカディアカフェUSA(23 牝父Into Mischief)中央2戦1勝(奥)

フエブライ-Sと同じ舞台で争われる武蔵野Sには3頭のGⅠウイナーをはじめ、例年以上に多彩な強豪たちが集結。なかでも上半期のダートマイル王コスタノヴァが一番人気の支持を集めたものの、課題のスタートを決められなかつた同馬は2着に敗れる。これを尻目に堂々の完勝劇を演じたのは重賞未勝利の3歳馬。中心勢力の1頭と目されていたルクソールカフェが、東京・ダート1600mの舞台にもゆかりが深い良血を開花させ、初の勲章を手中に収めた。

前走のさきたま杯(11着)に続き、スタートで大きく立ち遅れてしまったコスタノヴァをよそに、先手を奪ったの

はダート初参戦のアサカラギング。外枠を引いたルクソールカフェのD・レーン騎手は、前年のフエブライ-Sの覇者ベチドナイルを前に見る形で4番手の外に腰を落ち着ける。同舞台のグリーンチャンネルCを完勝し、2番人気に支持されたオメガギネスは最後にコスタノヴァは馬群のインでじっくりと脚を溜めた。

方4番手の外を追走。その後に巻き返したコスタノヴァは馬群のインでじっくりと脚を溜めた。

快調に飛ばしたアサカラギングに好位勢が襲い掛かった直線の坂の上り。1頭だけ“楽な手応え”で前に並びかけたのがルクソールカフェだった。レーン騎手が本格的に仕掛けると、馬も手応え通りの末脚を繰り出し、見る見るうちにリードが開く。その脚勢は最後まで陰らず、2着は死守したコスタノヴァに3馬身½差をつけてゴールに飛び込んだ。

ゆかりの深い舞台で重賞初制覇